

薬剤部



薬剤部長
北村 良雄

専門医資格等
日本薬剤師研修センター
認定実務実習指導薬剤師
日本薬剤師研修センター
研修認定薬剤師



薬剤部長
小林 勝昭

平成28年4月1日現在

専門医資格等
日本医療薬学会指導薬剤師
日本医療薬学会認定薬剤師
認定実務実習指導薬剤師
日本病院薬剤師会認定指導
薬剤師

□ スタッフ

平成27年10月1日時点

	氏名	専門資格等
副薬剤部長	玉田 太志	日本臨床薬理学会認定CRC、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
副薬剤部長	河合 実	日本医療薬学会認定薬剤師、日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
治験主任	山本 靖子	日本臨床薬理学会認定CRC、日本糖尿病療法指導士、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
調剤主任	畝 佳子	日本医療薬学会がん専門薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師
薬務主任	山本 修平	日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師・感染制御認定薬剤師
製剤主任	服部 雄司	日本臨床救急医学会救急認定薬剤師、日本DMAT隊員、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
調剤主任	竹松 茂樹	日本病院薬剤師会HIV感染症薬物療法認定薬剤師、NST専門療養士、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
試験・検査主任	畑 裕基	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
調剤主任	水津 智樹	日本アンチ・ドーピング機構スポーツファーマシスト、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
薬剤師	馬場 雅子	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
薬剤師	後藤 智美	日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本臨床薬理学会認定CRC、日本医療薬学会がん専門薬剤師
薬剤師	物部加容子	日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師・妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
薬剤師	木原 理絵	日本糖尿病療法指導士、日本腎臓病薬物療法学会認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
薬剤師	湊崎恵美子	小児薬物療法認定薬剤師
薬剤師	水本 知宏	日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師・感染制御認定薬剤師
薬剤師	福田 良子	日本臨床救急医学会救急認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師
薬剤師	田邨 保之	日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、日本糖尿病療法指導士

薬 剤 師	中嶋 尚子	小児薬物療法認定薬剤師、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師、日本病院薬剤師会生涯認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師
薬 剤 師	神林 由樹	
薬 剤 師	藤末 慎	
薬 剤 師	岸本 周子	
薬 剤 師	藤井 大和	
薬 剤 師	松本 信彦	
薬 剤 師	北宅 良祐	
薬 剤 師	竹之下祥愛	
薬 剤 師	吉水 浩史	日本アンチ・ドーピング機構スポーツファーマシスト
薬 剤 師	喜田 孝史	
薬 剤 師	植田 裕美	
薬 剤 師	堀尾 綾香	
薬 剤 師	小玉美希子	
薬 剤 師	宮地由香里	
薬 剤 師	上田 浩人	
薬 剤 師	杉本 有香	
薬 剤 師	熊谷 康平	
薬 剤 師	田淵 寿美	

□ 診療科の特徴

1. 各病棟に担当薬剤師を配置し、病棟薬剤業務実施加算を特殊病棟を除く全患者を対象に実施している。
2. 外来化学療法室での抗がん剤無菌調製、レジメンチェック、服薬指導を実施している。
3. 救命救急、ICU、NICU病棟に専任の薬剤師を配置し、ハイケア患者に対する薬物療法の質の向上を図っている。
4. ICT、NST、がん、緩和医療をはじめとしたチーム医療と各診療科の専属薬剤師が連携を取り、医師やその他の医療従事者と共働で入院患者の薬物療法の質の向上に努めている。
5. 早期体験実習生や年間27名の長期実務実習生を受け入れなど、質の高い教育研修を行っている。
6. 平成24年度に京都薬科大学との包括協定の締結や摂南大学との人事交流にて、教育や臨床研究の発展を図っている。
7. 治験・臨床研究実施におけるCRC業務等を実施している。

□ 診療(業務)内容

「薬学的介入によるアウトカムの検証」

〈病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務〉

医師、看護師らとの連携により、可能な限り入院患者の初回投与時及び退院時の服薬指導を実施するとともに、薬剤管理指導の増大と医療の質の向上に寄与する。

〈医薬品の安全性の確保〉

積極的に副作用情報を収集し、医薬品の安全性を確保するとともに医薬品情報の収集・提供体制の強化を図る。さらに、プレアボイド情報の収集に努め、迅速な対応を行う。また、医薬品関連インシデントの解析から、病棟専任薬剤師が医療事故防止策に積極的にアプローチする。

〈注射薬の無菌調製業務〉

全診療科の抗悪性腫瘍剤の無菌調製を実施し、医療従事者の安全性を確保するとともに医療事故の防止に努める。患者の安全性確保のため抗悪性腫瘍剤のレジメン管理の適正化を薬剤師主導で実施する。

〈医薬品管理の適正化〉

薬事委員会を通じて同種同効薬の整理を行い、採用医薬品数の縮減に努める。

〈教育研修・研究〉

積極的に各種研修に参加し資格認定及び専門薬剤師等の取得に努める。

薬学実務実習生、研修生を積極的に受け入れ、質の高い教育研修を行う。また、業務の効率化及び医療の質の向上を目的とした研究業務を行い、学会などに積極的に参加する。

〈調剤過誤防止〉

ヒヤリ・ハット報告の収集・分析・対策を迅速に行い、再発防止に努めるとともに鑑査の徹底により調剤過誤を減少させる。

〈チーム医療、クリニカルパスへの参画〉

薬剤師の専門性を活かした業務を押し進め、緩和ケア、糖尿病療養、ICT、NST、救命救急などのチーム医療に貢献する。また、クリニカルパスの運用において、薬剤部として積極的に関わり薬物療法の適正化に努める。

〈地域医療連携の強化〉

地域連携パスにおいて、服用薬の管理等、薬学的管理事項に関与し、在院日数の短縮に貢献するとともに、お薬手帳で薬薬連携の充実を図る。

また平成27年度は上記目標に加え、病院運営方針に則り、下記の目標についても現在実施中である。

国内外の学会や研究活動に積極的に参加し、最新の医学・薬学の知識修得に努めている。

また、薬学生の長期実務実習を積極的に受け入れている。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
研究会	山本修平、松井駿亮、尾崎良智、田中巧、井上修平 当院における抗結核薬減感作療法の現状～薬疹患者の減感作指標に好酸球は使えるか～ 医療薬学フォーラム2015/第23回クリニカルファーマシーシンポジウム 2015.7.5 名古屋
国内学会	吉水浩史、水津智樹、辻琢己、永井聡子、河合実、玉田太志、北村良雄 白内障患者に対する退院時集団指導の取り組み 第69回国立病院総合医学会 2015.10.2 北海道
国内学会	水津智樹、水本知宏、後藤智美、辻琢己、永井聡子、河合実、玉田太志、北村良雄 薬剤管理指導業務の記録内容標準化へ向けた取り組み 第69回国立病院総合医学会 2015.10.2 北海道
国内学会	喜田孝史、中嶋尚子、岡庭暁子、辻琢己、河田興 抗てんかん薬・精神神経用薬服用妊婦における周産期管理状況調査 第42回小児臨床薬理学会 2015.11.15 熊本
国内学会	水津智樹、畑裕基、竹松茂樹、辻琢己、河合実、玉田太志、北村良雄 京都医療センターにおける病院実務実習への取り組み実習カリキュラムの改訂を利用した実習生の意識調査 第25回日本医療薬学会年会 2015.11.23 神奈川
TV・ラジオ出演	玉田太志 もっと知って欲しい治験・臨床試験のこと FM845「カラダ元気」 2015.11.24 京都
国内学会	北宅良祐、服部雄司、畑裕基、畝佳子、河合実、北村良雄 アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出に対し、デクスラゾキサンを投与した2症例 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2016 2016.3.12 鹿児島